

第 32 回台日工程技術研討会・講師履歴書

	お 名 前	田崎 賢治
	ローマ字表記	TASAKI KENJI
	最 終 学 歴	九州工業大学大学院工学研究科設計生産工学専攻 修士課程修了
	専 門 分 野	橋梁工学、耐震工学
ご勤務先・職位	大日本コンサルタント株式会社 インフラ技術研究所・副研究所長	
主 要 職 歴	1994 大日本コンサルタント株式会社入社／橋梁構造物の計画・設計 1996-1998 建設省土木研究所耐震研究室交流研究員／橋梁耐震に関する研究 1998-2017 橋梁全般の計画・設計・補修補強設計・技術指導 2005 博士（工学）（九州工業大学）／橋梁構造物の耐震性能評価に関する研究 2011-2017 地震津波防災対策・特殊構造設計（研究開発含む）	
主 要 論 文・著 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3次元混相流解析による一部径間が流出した道路橋の津波被害再現解析， 土木学会論文集A1（構造・地震工学），Vol. 72, No. 4, pp.748-755, (2016) ・ 南海トラフ地震により漂流した大型船舶と斜張橋の衝突に関する基礎的検討， 土木学会論文集A1（構造・地震工学），Vol. 71, No. 4, pp.655-672, (2015) ・ 鋼橋耐震性向上のための既設部材の変形性能改善に関する検討， 土木学会論文集A1（構造・地震工学），Vol. 68, No. 3, pp.655-672, (2012) ・ 桁衝突解析による橋梁の地震被害分析， 土木学会論文集，No.794／I-72, pp.143-156, (2005) ・ 台湾集集地震で被災したPC斜張橋の詳細分析， 土木学会構造工学論文集，Vol.50A, pp.487-494, (2004) 	
講 演 テ ー マ	日本の防災・減災戦略と現状 日本之防災減災策略與現況	
講 演 概 要	<p>近年の気候変動により、日本各地で豪雨災害が頻発、激甚化する中、水防法等の法律改正も行われ、また、大規模地震災害も特に兵庫県南部地震以降頻発しており、想定を超える危機耐性を考慮した面的な防災減災戦略が急務と言えます。講演では、日本におけるライフラインを含む橋梁設計の考え方、粘り強い防波堤、断層、斜面崩壊予測等の地震津波対策や、最新の高潮評価技術等、ハード・ソフトが一体となった取り組み事例や今後の課題を紹介いたします。</p> <p>由於近年來氣候變遷的影響，日本各地經常發生暴雨災害，從而修訂了水防法等法律，同時於阪神大地震後發生多次大規模地震災害，因此在防災減災策略上，廣泛考慮超過假設的危機耐性為當前的急務。本次演講介紹了整合硬體與軟體層面的事例，包括日本生命線的橋梁設計考量方式、強化防波堤、考量斷層與邊坡破壞預測等的地震海嘯對策、最新的暴潮評估技術等。</p>	